

特定非営利活動法人 海洋音響学会

2020 年度総会資料

通常総会・表彰式

月 日 2020 年 5 月 28 日 (木)
場 所 神奈川大学 (役員数名に限定),
Zoom による電子会議 (通常会員他)

◇第 17 回通常総会 (通算第 48 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
第 1 号議案 2019 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)
第 2 号議案 2020 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 44 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 論文賞贈呈 (別紙 2)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 3)

2019 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2018 年度末	2019 年度末	備 考
名 誉 会 員	16 名	15 名	定期購読者： 5 機関（2019 年度）
終 身 会 員	8 名	8 名	
通 常 会 員	266 名	260 名	
賛 助 会 員	27 社 42 口	27 社 42 口	

(2) 第 16 回通常総会

2019 年 5 月 30 日（木）13:00～13:30

東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホールにおいて出席者 184 名（内、書面もしくは電磁的方法による表決者 63 名、表決委任者 67 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 2018 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2019 年度事業計画及び予算について

第 3 号議案 2019、2020 年度役員を選任について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会者より、蜂屋弘之氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 2018 年度事業報告及び決算について

議長より、2018 年度事業報告書(案)及び 2018 年度活動計算書、2018 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表、2018 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2018 年度計算書類の注記を配布し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2019 年度事業計画及び予算について

議長より、2019 年度事業計画書(案)及び 2019 年度活動予算書（案）を配布し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 2019、2020 年度役員を選任について

議長より、理事の任期満了に伴い定款第 14 条に基づき、2019、2020 年度理事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が理事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

理事 赤松 友成 (重任)	理事 浅田 昭 (重任)
理事 甘糟 和男 (重任)	理事 内野 雅直 (重任)
理事 江川 護 (新任)	理事 太田 和彦 (重任)
理事 小笠原 英子 (重任)	理事 小河 慎二 (重任)
理事 越智 寛 (重任)	理事 川崎 良道 (重任)
理事 澤田 浩一 (重任)	理事 澤田 信一 (重任)
理事 土屋 健伸 (重任)	理事 南利 光彦 (重任)
理事 蜂屋 弘之 (重任)	理事 松本 さゆり (重任)
理事 向井 徹 (重任)	理事 森 和義 (重任)
理事 吉江 宗生 (重任)	理事 渡辺 好章 (重任)

同じく議長より定款第 14 条に基づき 2019、2020 年度監事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が監事として選出され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

監事 後藤 英親 (重任) 監事 深見 明久 (重任)

また、次期理事候補者による投票結果が報告され、2019、2020 年度会長候補に川崎良道氏、副会長候補に澤田浩一氏及び渡辺好章氏としたことについての報告が確認された。

なお、提出書類の軽微な事項の修正については、総務理事に一任する。

(3) 第 42 回表彰式

総会に引き続き東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホールにおいて開催した。
論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した。

題目 Development of the Parametric Sub-Bottom Profiler for Autonomous Underwater Vehicles and the Application of Continuous Wavelet Transform for Sediment Layer Detections

受賞者 (所属) 水野 勝紀 (東京大学)
浅田 昭 (東京大学)
片瀬 冬樹 (東京大学)
永橋 賢司 (東京大学)
原口 強 (大阪市立大学)

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 43, No. 4, pp. 233-248, 2016 年 10 月

業績賞贈呈

以下の者に業績賞を贈呈した。

件名 高解像度音響映像取得装置
(推薦に関わる仕事をした期間: 2016 年~2018 年)

受賞企業 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

貢献者 (所属) 松本 さゆり (新技術研究領域)
片倉 景義 (新技術研究領域)
佐藤 智夫 (新技術研究領域)
吉江 宗生 (新技術研究領域)

JAMSTEC 中西賞報告

以下の者に JAMSTEC 中西賞が贈呈されたことを報告した。

件名 水中音響位相共役 MIMO 通信とマルチパス・チャネル間干渉

受賞者 (所属) 樹田 行弘 (海洋研究開発機構)
出口 充康 (海洋研究開発機構)
志村 拓也 (海洋研究開発機構)

掲載誌 海洋音響学会 2018 年度 研究発表会 講演論文集, pp. 61-62, 2018

(4) 理事会

年度中 6 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 6 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料 2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙 1 による。

2019 年度 事業報告書 (案)

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2019 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「海中騒音の評価手法研究部会」を開催した。
 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、研究発表会の開催、会誌の発行と、シンポジウム、談話会、講演会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞および顕功賞の表彰をしたほか、本年度の優秀論文、優秀業績の表彰候補選考を行い、JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 5,760】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」を 2 回開催した。	7 月 17 日 10 月 30 日	東京都港区 東京都目黒区	25 人	海洋音響に関心のある者	約 30 人	42
普及啓蒙事業	会誌 174, 175, 176, 177 号を発行した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	19 人	海洋音響に関心のある者	約 450 人	2,961
普及啓蒙事業	「全周ソナー部会報告書」部会報告書を発行した。	1 月 31 日	東京都港区	26 人	海洋音響に関心のある者	約 40 人	231
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 30 日 ～31 日	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者	約 250 人	995
普及啓蒙事業	シンポジウム及び講演会を 2 回開催した。	5 月 24 日 1 月 31 日	東京都港区	10 人	海洋音響に関心のある者	約 40 人	291
普及啓蒙事業	談話会を 2 回開催した。	7 月 19 日 8 月 28 日	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者	約 25 人	296
普及啓蒙事業	「音響の基礎(全般)」及び「最新技術動向」をテーマに技術講習会を開催した。	12 月 9 日 ～ 10 日	東京都港区	6 人	海洋音響に関心のある者	約 60 人	250

普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	232
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	5月30日 (表彰) 10月30日 2月19日 (委員会)	東京都 目黒区 中央区	12人	海洋音響の研究者	約10人	297
企画交流促進事業	企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	4月22日 8月19日 12月6日 2月5日	東京都 目黒区 新宿区	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	165

書式第13号（法第28条関係）

2019年度 活動計算書
2019年4月1日から2020年3月31日まで
特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,512,000	
賛助会員受取会費	7,560,000	9,072,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	825,390	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	825,390
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	91,570	91,570
経常収益計		9,988,960
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	41,000	
人件費計	41,000	
(2) その他経費		
事務委託費	34,548	
消耗品費	149,855	
通信運搬費	489,901	
旅費交通費	396,702	
印刷製本費	2,725,992	
会議費	1,259,361	
謝金	640,600	
雑費	22,476	
その他経費計	5,719,435	
事業費計		5,760,435
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,541,581	
消耗品費	109,486	
通信運搬費	131,253	
旅費交通費	240,290	
印刷製本費	29,341	
会議費	142,472	
雑費	12,904	
その他経費計	3,207,327	
管理費計		3,207,327
経常費用計		8,967,762
当期経常増減額		1,021,198
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,021,198
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		16,505,848
次期繰越正味財産額		17,527,046

2019年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表
2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,412,116		
流動資産合計		11,412,116	
2 固定資産			
基本財産	6,537,126		
固定資産合計		6,537,126	
資産合計			17,949,242
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	390,196		
前受会費	32,000		
流動負債合計		422,196	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			422,196
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,505,848	
当期正味財産増加額		1,021,198	
正味財産合計			17,527,046
(うち基本財産)			(6,537,126)
負債及び正味財産合計			17,949,242

2019年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録
2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	9,394,696	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	457,253	
郵便振替(ゆうちょ銀行高田馬場支店)	1,560,167	
流動資産合計		11,412,116
2 固定資産		
基本財産		
定期預金(三菱UFJ信託銀行本店営業部)	6,537,126	
固定資産合計		6,537,126
資産合計		17,949,242
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	390,196	
前受会費(次年度会費)	32,000	
流動負債合計		422,196
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		422,196
III 正味財産の部		
繰越正味財産 (うち基本財産)		17,527,046 (6,537,126)

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2020年 4月 10日

監事 深見 明久 印

監事 後藤 英親 印

2019年度正味財産17,527,046円は全額次年度に繰越すこととする。

2019年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	9,072,000	9,072,000
2. 事業収益	0	825,390	0	0	825,390	0	825,390
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	91,570	91,570
経常収益計	0	825,390	0	0	825,390	9,163,570	9,988,960
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	38,000	3,000	0	41,000	0	41,000
人件費計	0	38,000	3,000	0	41,000	0	41,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	34,548	0	0	34,548	2,541,581	2,576,129
消耗品費	0	5,135	144,720	0	149,855	109,486	259,341
通信運搬費	0	489,901	0	0	489,901	131,253	621,154
旅費交通費	13,010	175,897	83,860	123,935	396,702	240,290	636,992
印刷製本費	0	2,724,032	0	1,960	2,725,992	29,341	2,755,333
会議費	28,973	1,137,777	64,382	28,229	1,259,361	142,472	1,401,833
謝金	0	640,600	0	0	640,600	0	640,600
雑費	216	10,630	652	10,978	22,476	12,904	35,380
その他経費計	42,199	5,218,520	293,614	165,102	5,719,435	3,207,327	8,926,762
経常費用計	42,199	5,256,520	296,614	165,102	5,760,435	3,207,327	8,967,762
当期経常増減額	△ 42,199	△ 4,431,130	△ 296,614	△ 165,102	△ 4,935,045	5,956,243	1,021,198

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,536,573	553	0	6,537,126
合 計	6,536,573	553	0	6,537,126

2020年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2020年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【7,250】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」を開催する。	7月, 10月 1月, 3月	東京都港区	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	300
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約450人	3,300
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍の改定について検討する。	3月	東京都目黒区	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	100
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5月	東京都目黒区	20人	海洋音響に関心のある者約	250人	900
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	6月	東京都目黒区	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	200
普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度、談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	東京都目黒区ほか	10人	海洋音響に関心のある者	延べ約200人	400

普及啓蒙事業	技術講習会を開催する.	12月	東京都 目黒区	10人	海洋音響 に関心のある者	約50人	200
普及啓蒙事業	ホームページを運用し、 活動内容を紹介し、海洋 音響に関する情報を提供 する。 ホームページをリニュー ーアルする.	随時	法人 事務所	8人	一般市民	不特定 多数	1,300
奨励事業	海洋音響に関する優れた 研究並びに開発成果を 表彰する。 海洋音響に関する研究 の奨励、優れた研究開発 成果を表彰するための 委員会を開催する.	表彰:5月 委員会: 随時	東京都 港区 東京都 目黒区	12人	海洋音響 の研究者	若干名	350
企画交流促進 事業	事業の企画会議の開催 並びに、国際化に関する 検討、日本海洋工学会等 関連団体との交流、行事 の共催・後援を行う.	随時	東京都 目黒区 東京都 千代田区	25人	海洋音響 に関心のある者	不特定 多数	200

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2020年度 活動予算書（案）

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,560,000	
賛助会員受取会費	7,560,000	9,120,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	640,000	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	640,000
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	90,000	90,000
経常収益計		9,850,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	65,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	65,000	
(2) その他経費		
事務委託費	1,350,000	
消耗品費	53,000	
通信運搬費	607,000	
旅費交通費	975,000	
印刷製本費	2,535,000	
会議費	1,035,000	
謝金	620,000	
雑費	10,000	
その他経費計	7,185,000	
事業費計		7,250,000
2 管理費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,600,000	
消耗品費	70,000	
通信運搬費	200,000	
旅費交通費	190,000	
印刷製本費	60,000	
会議費	70,000	
雑費	10,000	
その他経費計	3,200,000	
管理費計		3,200,000
経常費用計		10,450,000
当期経常増減額		△ 600,000
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 600,000
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		17,527,046
次期繰越正味財産額		16,927,046

2019 年度事業内容

○ 研究発表会

(5/30, 31 東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール)

特別講演 深層学習の水中音響分野への応用

長田 茂美 (金沢工業大学)

優秀論文発表賞の贈呈:

ア. 講演の部

題目 海底下ゆっくりすべりを検知するための GNSS-A 観測の高度化と海洋学的応用

発表者 横田 裕輔 (東京大学)

イ. ポスターの部 (ベストポスター賞)

題目 コウモリの認識空間の可視化による, 超音波 SLAM 技術の検討

発表者 手嶋 優風 (同志社大学)

○ 談話会

第1回 (7/19 東京工業大学 蔵前会館 手島精一記念会議室)

「Development of the Parametric Sub-Bottom Profiler for Autonomous Underwater Vehicles and the Application of Continuous Wavelet Transform for Sediment Layer」

永橋 賢司 (東京大学)

「高解像度音響映像取得装置」

松本 さゆり (港湾空港技術研究所)

第2回 (8/28 東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール)

(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

議題: 水中音響, 一般

「GNSS-A によって観測できるナノスケール海洋場の理論と実例」

横田 裕輔 (東京大学)

石川 直史, 渡邊 俊一, 中村 優斗 (海上保安庁)

「音響マーカの RF 信号解析」

佐藤 智夫, 片倉 景義, 松本 さゆり (港湾空港技研)

「ドップラーシフトを利用したリモート水温計の提案」

田中 正吉, 野村 英之, 鎌倉 友男 (電気通信大学)

「ライス分布を用いた沿岸域の多経路伝搬音波の変動特性評価」

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「有明海における浮泥層音響計測に向けた基礎的検討」

小笠原 英子, 吉口 将人, 森 和義 (防衛大学校)

「日本海溝域における海底表層地震波速度の推定と海面低周波音源の定位に関する検討
～S-net 観測点におけるエアガン受信波形の解析～」

岩瀬 良一 (海洋研究開発機構)

「高速水中音響通信の研究開発

～Time Reversal による MIMO 通信の研究、しんかい 6500 搭載音響通信装置の開発～」

志村 拓也, 出口 充康, 樹田 行弘, 渡邊 佳孝 (海洋研究開発機構)

「超音波曲面開口アレイを用いたフーリエビームフォーミング

～仮想の球面開口と円形開口の場合にエコー信号を直接に離散デカルト座標系にて生成～」

炭 親良 (上智大学)

「DPLUS Based High-Frequency Ultrasonic Tweezers for Micro/Nano Manipulations」

Liu Qingyang, Chen Kang, Morita Takeshi (The Univ. of Tokyo)
Hu Junhui (NUAA)

○ シンポジウム (兼 講演会)

第1回 (5/24 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター (田町) 国際会議室)

主題: 海洋サウンドスケープの計測と応用

「Environmental Impact Assessment of Sound Impacts—Lessons Learned from Europe and Beyond」

Frank THOMSEN (DHI A/S)

「Underwater Noise in the Arctic」

Michel ANDRÉ, Mike van der SCHAAR (UPC)

第2回 (1/31 東京海洋大学 (品川キャンパス) 楽水会館・大会議室)

主題: 全周ソナーの標準データフォーマット研究部会報告会

「部会概要と本講演の紹介」

澤田 浩一 (部会長, 水産工学研究所)

「全周ソナー国際標準データフォーマット策定活動報告」

白木 里香 (古野電気)

「全・半周ソナーの解説」

倉林 幸則 (ソニック)

「全周3Dソナーの解説」

奥西 哲 (古野電気)

「マルチビームエコー積分方式の解説」

奥西 哲 (古野電気)

「広域エコー積分方式の解説」

甘糟 和男 (東京海洋大学)

「ソナーの計量的利用への取り組み」

古澤 昌彦 (東京海洋大学)

○ 技術講習会

第29回講習会

(12/9, 10 東京海洋大学 (品川キャンパス) 白鷹館多目的スペース)

主題: 海洋音響の基礎と最新技術動向

テキスト: 「海洋音響の基礎と応用」及び技術資料

「音響の基礎」

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「反射・散乱と残響」「音源からの放射」「送受波器」

鎌田 弘志 (元会長)

「全周ソナーのデジタル信号処理技術」

奥西 哲 (古野電気)

「適応ビームフォーミング技術」

奥村 成皓 (マリ)

○ 部会

海中騒音の評価手法研究部会

第1回 (7/17 東京海洋大学 (品川キャンパス) 418号室)

話題提供

「海中騒音計測の国際基準例の紹介」

赤松 友成 (中央水産研)

「洋上風力発電所の環境影響に係る調査検討」

會田 義明 (環境省)

第2回 (10/30 東京工業大学 蔵前会館 大会議室)

話題提供

「伝搬シミュレーションの現状」

土屋 健伸 (神奈川大学)

「ガイドブックの事例について」

會田 義明 (環境省)

○ 日本海洋工学会

総会	2回 (通期第23回 6/25, 第24回 2020/3(メール審議))
理事会	2回 (通期第39回 6/25, 第40回 2020/3(メール審議))
運営委員会	4回 (第183回 5/22, 第184回 6/25, 第185回 10/16, 第186回 2020/3(メール審議))
海洋工学シンポジウム	1回 (第28回 開催延期)
海洋工学パネル	1回 (第51回 7/31)

○ 委員会

企画運営委員会	4回 (4/22, 8/19 東京工業大学, 11/6, 2/5 国際文献社)
表彰委員会	3回 (10/30 東京工業大学, 2/19 同志社大学東京サテライト, 3/16 メール審議)
編集委員会	8回 (4/17 国際文献社, 6/10 東京工業大学, 7/30, 9/17, 10/18, 12/12 国際文献社, 1/20 東京海洋大学, 3/13 メール審議)

2020 年度表彰一覧表

○論文賞

(郵送にて贈呈)

- ・ 題目 Proposal to Fish-Length to Wavelength Ratio Characteristics of Backscatter from Fish for Species Identification
- ・ 受賞者 (所属 (当時))
古澤 昌彦 (東京海洋大学)
甘糟 和男 (東京海洋大学)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 45, No. 4, pp. 183-196, 2018 年 10 月

○JAMSTEC 中西賞

(日本海洋工学会より郵送にて贈呈)

- ・ 題目 海底下ゆっくりすべりを検知するための GNSS-A 観測の高度化と海洋学的応用
- ・ 受賞者 (所属 (当時))
横田 裕輔 (東京大学)
石川 直史 (海上保安庁)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会 2019 年度研究発表会講演論文集, pp. 49-52, May 2019